

かわねほんちょう 議会だより

第81号

令和8年2月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会



いつもありがとう 地域の安全を守るその雄姿

私たちの変わらぬ日常は、皆様の尊い献身によって支えられています。生業を持ちながらも、いざという時には最前線へ。

地域の安全を守るその雄姿に、心からの「いつもありがとう」を。

12月議会で決まったこと……………	2
深堀り!! 火葬場条例改正……………	3
議員研修報告……………	4
町政を問う 一般質問 (9名) ……	5~13
皆さんの声を議会へ……………	14
新・広報委員の意気込み	
3月定例会の日程	

川根本町
議会



10月臨時・12月定例会 で決まったこと

10月第2回臨時会、補正予算議案が可決された。
12月定例会は2日、議案13件が上程された。
定例会二日目の10日には、議案13件が可決した。

条例関係

議案第59号

川根本町し尿処理施設条例を廃止する条例について

・令和8年3月中旬、ク
リーンピュア川根本町運
用終了

議案第60号

川根本町し尿中継施設条例の制定について

・令和8年2月末川根本
町中継センター完成
・令和8年3月中川根本
町中継センター運用開始

議案第61号

川根本町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

・就労要件を問わず時間
単位等で柔軟に利用出来る
新たな通園制度

議案第62号

川根本町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

・第17条第2項の改正
議案第63号

川根本町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

・虐待等の禁止第12条児童福祉法適用条項の改正

議案第64号

川根本町税条例の一部を改正する条例について

・個人住民税の控除の見直し、紙たばこと加熱式たばこの税額の格差是正

議案第65号

川根本町文化会館条例の一部を改正する条例について

・第11条にただし書きを加える（ただし施設予約システムにより使用許可を受けた場合は、この限りではない）

議案第66号

川根本町資料館条例の一部を改正する条例について

・大型バス駐車場を有料化する条例を定めること

により路上駐車を防ぎ資料館への来館を促進する

議案第67号

川根本町火葬場条例の一部を改正する条例について

・令和8年3月26日供用開始



千頭嶺線

工事請負契約変更

議案第68号

工事請負契約の変更契約の締結について

・変更による増額317
35000円 請負業者
株式会社柳澤組

議案第69号

工事請負契約の変更契約の締結について

・変更による増額832
7000円 請負業者
株式会社神田組

補正予算

議案第58号

令和7年度川根本町一般会計補正予算（第3号）

・物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金

議案第70号

令和7年度川根本町一般会計補正予算（第4号）

・後期高齢者医療費
人間ドック助成事業400
000円

・茶業推進対策費 茶製
造機械長寿命化緊急対策
補助金711000円
等

深掘り!!

火葬場 条例改正



今回は、12月議会で議決された案件の中から、現在建設中の新たな斎場に関する「議案第67号川根本町火葬場条例の一部を改正する条例」の審議の状況と主な改正点についてご報告いたします。

◎今後の予定

改正ポイント

- ・ 供用開始 3月26日 (予定)
- ・ 使用料の種別の見直し
- ・ 下記表1参照
- ・ 使用料の一部見直し
- ・ 種別の見直しに合わせ「動物の死体」については使用料を見直すが、他の使用料は、現行と同様である。
- ・ 町外からの受入見直し
- ・ 「汚染物類」及び「動物の死体」の受け入れは、本町住民のみである。

改正	現行
死体	死体
死胎	死胎
人体の一部	汚物その他
汚物類	
動物の死体	

表1 種別の見直し

◎質疑応答(抜粋)

質問 使用者とは、当町に住所を有している方か。
回答 そのとおりである。
質問 他市町の施設等への入所に伴い住所が他市町に移された方はどうか。
回答 現状も老人ホームのような他市町の施設に入所に伴い住所変更された方についても町民料金対応しており、今後も同様と考えている。

質問 今回の条例改正案だけでは、今の説明が明記されていないのではないか。
回答 条例を補完補足する、規則及び運用等で明確文化し対応する。

質問 町民使用料の三千円は、他市町と比較してどうか。
回答 近隣市町は、火葬料は無料だが待合室等の使用料を徴収するという料金体系が多く、当町の料金体系と異なるが、納入額金額は、ほぼ同様と認識している。

質問 動物の死体に関する使用料が、改正となっているが、その要因と金額を含め他市町の状況はどうか。
回答 多くの近隣市町は動物の死体に関しては個別対応を行っておらず、ある程度数量をまとめて火葬しているため、比較的安価な価格となっている。

料金の比較

(単位：円)

区分	使用料	種別				
		死体	死胎	人体の一部	汚染物類	動物の死体
町内	現行	3,000	2,500	2,500	5,000	5,000
	改正案					
町外	現行	10,000	5,000	15,000	5,000	5,000
	改正案	30,000	15,000	15,000	受け入れない	受け入れない

当町では従前より個別対応としており、今後も同様の対応と考えていることから、今回の改正により料金を見直しをさせていただきます。



告別収骨室 (イメージ)



待合室 (イメージ)



全景 (イメージ)

議員研修報告



①年間数ミリ程隆起し拡大している崩壊地を森林に復旧させながら治山工事が行われている
見学したエリアは全体のごく一部で工事の規模と深刻さを感じた

- ①ホーキ荘治山工事現場
10月29日
- ②コンプライアンス講習
10月21日
- ③し尿等中継槽建設現場
10月28日
- ④新斎場建設現場
10月28日



①大井川治山センターさんから施工方法や進捗状況の説明を受けた



③使用時の周辺地域への配慮の工夫や貯留量、景観保護の説明を受けた
出入口通行時、路上の一般車との安全性を話し合った



③地名地区に建設中のし尿中継槽の内部と敷地を見学



②初めての議員も経験ある議員も、改めて議会の役割や心構え、川根本町まちづくり基本条例を確認した



ほかにも...
ペーパーレス会議システム講習
iPadの活用で議会を効率化&資源削減!
10月20日

志太榛原五市二町議員研修会

島田市のリバティこどもクリニック院長による、病児保育や小児在宅医療の現状説明を受け、市町を越えた強い連携の重要性を感じた
11月5日



④図面を見ながら実際の導線や施設の内容を確認した



のぐち なおじ
野口 直次
議員



農林業センターハウスで苗木育成中品種「つゆひかり」

国の農研機構登録新品種「せいめい」を圃場内で育成中

質問 煎茶・碾茶・品評会等今後の農業施策の方針

答え

国・県の支援策の活用・町も独自支援を続行
続行開する策の動向を注視

質問：各品評会への支援や、煎茶・碾茶の農業施策の今後の方針を伺う。

町長：経済・社会情勢や世界的潮流を踏まえた施策展開が重要で、国及び県の施策動向を注視し、それぞれの支援策を最大活用する、町独自のきめ細かな支援を展開する、品評会対策についても栽培、製造の両面でこれまで以上の支援を行う。

質問：JAが本来やるべき営農指導が、現状消極に私には映る。町からもJAに積極的に助言してほしい。

町長：JAには生産の効率化を目的にスマート農業等の新技術普及においての役割を期待し、併せて農業者からも、積極的な相談・指導要請を行うことが重要。農業者とJA執行部の双方に伝える。

質問：将来を見据えて、農業法人・会社組織化進めてほしい。考えを伺う。

町長：今後の農業経営においては、個人・法人を問わず、経営者の経営力が問われる。町は農業技術や流通販売に加え、経営的側面についてもJAや県農林事務所と連携支援をしていく。令和7年3月設立の「特定地域づくり事業協同組合」にも大きな期待をしている。

質問：農林業センターは、町産業振興に必要不可欠な施設で、今後も農家の皆として引き続き予算確保に努めてほしい。

町長：町直営の農林業試験研究機関であり、農業改良普及における中核施設。JAとの連携を重視して、事業内容、必要経費の精査を行いつつ、来年も予算確保をしていく。

質問：農業関連の物価高

騰対策について伺う。
産業振興課長：農業資材などの価格高騰は経常的なのかと想定している。一時的な支援策を講じるよりは、収入を増加させる方策に注力したい。国の農業経営セーフティネットも充実してきている。

質問：茶の販売強化の成果及び進捗状況を伺う。

産業振興課長：「川根時間」、「川根茶を愉しむ会」の継続など、幅広い広報宣伝、販売活動が展開できる道筋ができてきている。茶業振興協議会としても首都圏・静岡市などにおける効果的な活動を皆様に提供できるように努力していく。

※掲載記事は発言議員の寄稿によるものです

川根本町 地域公共交通計画



令和8年度施行「地域公共交通計画」



川根本町地域コミュニティバス

質問 近隣市町への移動手段の確保について

答え 皆で支える持続可能な公共交通サービス

質問：大井川鐵道が全線復旧していない今、通学・通勤・通院等の不便を理由とした転出が後を絶たない。地域公共交通の確保について、現状をどう捉え、どのような対策を講じるのか。

町長：地域公共交通計画に基づき、「町外交通の維持」「町内交通の充実」「交通とまちづくりの連携」「公共交通の利便促進」の4つの施策をまとめ、対策を講じていく。

質問：施策の一つである「町外交通の維持」について、「大井川鐵道の利便性向上」「町営バスの見直し」「新たな広域交通の研究」という3つの視点から、具体的な取組を伺う。

くらし環境課長：鉄道の復旧支援と駅へのアクセス改善を図る。町営バス

は鉄道との競合を避け役割を明確化する。町外への移動を便利にする事例を集め、導入できるかを整理する。必要に応じて、視察も検討していく。

質問：通学・通勤・通院の利便性確保のため、JR金谷駅での東海道線への接続など、利用しやすいダイヤ編成を大井川鐵道へ要望できないか。

くらし環境課長：現在もダイヤ改正時には協議を行っている。引き続き、接続の円滑化など町民の利便性が向上するよう、可能な限りの要望を伝えていく。

質問：現在、代替措置としてバスを運行しているが、大井川鐵道復旧後の町営バス千頭家山線の運行見直しはどうか。

くらし環境課長：鉄道とバスのサービス競合を避けるため、復旧後は事業

者と協議し役割分担を明確にした上で、運行の在り方を見直す。

質問：町民の切実な要望として、島田駅や総合医療センターなどの主要箇所へ直接アクセスできる路線バス運行等の交通支援を、町として実施する考えはないか。

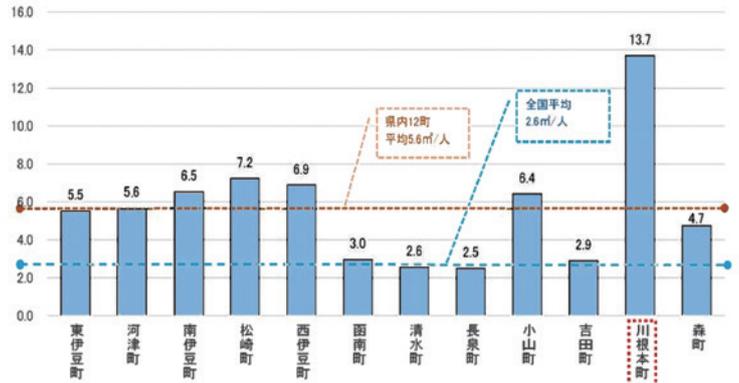
町長：新たな財政負担や全国的な運転手不足の課題があるため、当面は現行体制を維持し乗り継ぎ時間の調整等に対応する。課題を整理し、関係機関と協議を行い実現可能な方策を検討したい。



いしやま きみお
石山 貴美夫
議員



公共施設の約6割は経年劣化が進む



公共施設の1人当たりの延べ床面積 (県内の町との比較)
(川根本町公共施設等総合管理計画より抜粋)

突出する本町の公共施設面積

質問：私は、議長研修で『賢く縮小する町』の事例（人口に合わせた公共施設の統廃合・集約により、持続可能な行政、市民の生活の質・健康で幸せな状況を高める町作り）を学び岡山県美咲町を視察した。この手法を我が町に取り入れるべきと選挙期間中訴えた。あの町はコンサルなど外部

に頼らず、地元で熟知した職員自ら、格好つけず、具体的・現実的町作りを目指し、施設の解体・売却・貸与を大胆に実現した町だった。この政策スマートシュリンク（賢く縮む町）を提案したい。2021年町の公共施設は427施設、延べ床面積8.4万平米、伊豆の同規模町の2倍、しかも約6

割5万平米は30年以上経過施設。人口減で財源確保は困難に、施設保有の集約・処分・適正化にせまられているが：
町長：広い町だが、職員も各地区を把握している。提案を旨に、見直し、コンパクト化を考え、財政も整えたい。一緒に前に進めていきましよう。
(質問他に27問)

答え

提案を受け、コンパクト化を一緒に進めたい

質問

人口減少：『賢く縮小する町』を提案します

質問：様々な統計推計によると、我が町の人口はこの20年で約半分の5千数百人に、3人世帯は2人世帯に、世帯数は3割減り高齢化も進み消滅可能性町とも言われる今、やるべきことは何だと考えるか。
町長：町の歳入規模、身の丈に合った財源構成に

していく事と、職員の奮起を期待する。
質問：合併20年目の節目の町長として、総括してどう考えるか。
町長：新町建設計画に基づき進めてきたが、重大な災害の影響で道路、鉄道等問題が残った。まだ道半ばだと考える。
質問：町の所有するハ-

ド公共施設は、人口規模からみて、種類・数・保有面積を、どう認識しているか。同規模の他の町と比べてどう捉えているか。
町長：ご指摘の通り、町内公共施設一人当たり面積指数6に対し13.5と突出している。議員の協力を得て整理・精査し財源にも取り組みたい。

質問

人口減・高齢化、いま、やるべき事は何か

答え

身の丈に合った財源構成と、職員の奮起を

R7.12月議会 一般質問 佐々木議員：町のOSを書き換える！
～実装への確約(コミットメント)～

古い思考回路
(予算ない・人いない＝できない)を捨てて、**知恵とデザイン**で未来を書き換える提案！

【実装確定】
外部プロ人材(広報・DX)
デジタル推進課長
来年度予算に盛り込む
ことで進めている！
地域活性化起業人
制度で2名活用！

【視点転換】
里山・言葉・幸福度
コスト 資産 ウェルビーイング
里山の資産化、言葉のデザイン、
ウェルビーイング指標導入を検討・推進！

【新体制】
副町長直轄「稼ぐチーム」
私自ら陣頭指揮を執る！
委員会設置で着実に実行！
稼ぐ！

→ **来年度から始動！ここからが本当の実装！**

12月議会一般質問の提案と成果1

さ さ き なお や
佐々木 直也
議員



補足：実装を加速させる具体的な戦略とマインドセット

【財源確保と推進エンジン】
地域活性化起業人制度のメリット
プロ人材 人件費
国から100%特別交付税措置！
町の財政負担軽減効果！
行政リソース確保とクリオリズUP

【共感と投資を呼びこむストーリーへの転換】
稼ぐチームの具体策と手法
個人の共感(6Pのネットワーク)
社会福祉系「美山ストーリー」
書き換え
(美山再生プロジェクト)
森林組合員 現場の熱量×町の決断＝合意形成！
言葉のデザイン・具体例
「有富島観光大使」
「美山再生景観創成事業」
副町長直轄

【最強の戦略：リーダーの実績は「公務】
データに基づく真実：
首長の笑顔＝地域の幸福度向上！
笑顔は立派な「戦略」であり「公務」です！
町長、笑顔をお願いします！

→ これらの具体的な戦略とマインドセットが、来年度からの「実装」を強力に加速させる！

12月議会一般質問の提案と成果2

質問 財政難の今、里山と関係人口をどう戦力化するか

答え 景観を資産化し、企業版納税と外部人材を招く

質問：獣害対策の緩衝帯整備を単なるコストとせず、都市部の企業に関わりたくなる「里山再生」の物語として提示し、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の獲得につなげるべき。考えを伺う。

町長：現状の人員で広範囲の実施は困難だが、生物多様性や景観形成の価値を示せば関係構築は可能と考える。まずは針広混交林が資産となり得るような森林整備の構築を検討したい。

質問：「定住」へのこだわりを捨て、関係人口を主役にする制度設計への転換はいかがか。企業研修などで繋がった人々を、地域課題を解決する戦力と位置づけ「ふるさと住民登録制度」を活用すべきだと考えるがどうか。

町長：関係人口の増加は質問：獣害対策の緩衝帯整備を単なるコストとせず、都市部の企業に関わりたくなる「里山再生」の物語として提示し、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の獲得につなげるべき。

町長：現状の人員で広範囲の実施は困難だが、生物多様性や景観形成の価値を示せば関係構築は可能と考える。まずは針広混交林が資産となり得るような森林整備の構築を検討したい。

質問：「定住」へのこだわりを捨て、関係人口を主役にする制度設計への転換はいかがか。企業研修などで繋がった人々を、地域課題を解決する戦力と位置づけ「ふるさと住民登録制度」を活用すべきだと考えるがどうか。

町長：関係人口の増加は

質問：獣害対策の緩衝帯整備を単なるコストとせず、都市部の企業に関わりたくなる「里山再生」の物語として提示し、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の獲得につなげるべき。考えを伺う。

町長：現状の人員で広範囲の実施は困難だが、生物多様性や景観形成の価値を示せば関係構築は可能と考える。まずは針広混交林が資産となり得るような森林整備の構築を検討したい。

質問：「定住」へのこだわりを捨て、関係人口を主役にする制度設計への転換はいかがか。企業研修などで繋がった人々を、地域課題を解決する戦力と位置づけ「ふるさと住民登録制度」を活用すべきだと考えるがどうか。

町長：関係人口の増加は

質問：獣害対策の緩衝帯整備を単なるコストとせず、都市部の企業に関わりたくなる「里山再生」の物語として提示し、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の獲得につなげるべき。

町長：現状の人員で広範囲の実施は困難だが、生物多様性や景観形成の価値を示せば関係構築は可能と考える。まずは針広混交林が資産となり得るような森林整備の構築を検討したい。

質問：「定住」へのこだわりを捨て、関係人口を主役にする制度設計への転換はいかがか。企業研修などで繋がった人々を、地域課題を解決する戦力と位置づけ「ふるさと住民登録制度」を活用すべきだと考えるがどうか。

町長：関係人口の増加は

質問：獣害対策の緩衝帯整備を単なるコストとせず、都市部の企業に関わりたくなる「里山再生」の物語として提示し、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の獲得につなげるべき。

町長：現状の人員で広範囲の実施は困難だが、生物多様性や景観形成の価値を示せば関係構築は可能と考える。まずは針広混交林が資産となり得るような森林整備の構築を検討したい。

質問：「定住」へのこだわりを捨て、関係人口を主役にする制度設計への転換はいかがか。企業研修などで繋がった人々を、地域課題を解決する戦力と位置づけ「ふるさと住民登録制度」を活用すべきだと考えるがどうか。

町長：関係人口の増加は

※掲載記事は発言議員の寄稿によるものです



やま した まさ お
山下 真男
議員



町道坂京線の崩落現場



三ツ星天文台横から星空を望む

質問 子育て教育支援について

答え シームレス教育と種々の支援

質問：現在の出生数を踏まえて学校、教育環境の将来像をどう考えるか。

教育長：シームレスな教育を0歳から18歳まで、また学園の中、そして地域で進めていく。

質問：当町の子育て教育の支援策と利用状況は。

健康福祉課長：医療費無償化、おむつ等の育児用

品購入券支給、オンラインでの医療相談等々。それぞれ利用状況の説明あり。

質問：顔が見えて気軽に子育ての相談ができる場はあるか。

健康福祉課長：健康診査や乳幼児相談の他、ひだまり、こもれび関連のコミュニケーション等顔の

見える関係づくりを心がけている。

☆子育てはどうしても孤立しがちな側面があり、以前から要望はあるが親同士が顔を合わせて情報交換できるような公園やインドアの施設も必要と思われる。

質問 宇宙ビジネスについての提案あり

答え 慎重に判断しながら前向きに考えたい

質問：プラネタリウム、リモートセンシング、人工衛星打ち上げの提案ありどう考えるか。

町長：財政支出は慎重に考えつつ効果も期待でき前向きに考えたい。

質問：リモートセンシングと人工衛星について具体的に伺う。

経営戦略課長：リモート

センシングは農業や防災に役立て、人工衛星は超小型のものでそれらに当町も関係して知名度をあげ関係人口、交流人口を増やしていくという提案だ。

☆宇宙ビジネスは現政権の重要な国家戦略であり、予算を増やして補助も様々あり。まず人工衛星

を打ち上げるとの話もあり。当町が関係して打ち上げたとなれば大きなニュースで、費用対効果も大きいと思われる。三ツ星天文台や大井川鐵道との連携も可能性ありと考える。

他に道路の復旧と迂回路の整備について質問。



川根茶



の ざき いく のり
野崎 郁徳
議員



役場外観

質問 今後の町財政運営について

答え 積極的な歳出削減に努めていきます

質問：今後、ますます深刻となる歳入不足にどのような対応していくか。

町長：歳出削減に積極的に務めてまいります。

質問：さらなる行財政改革が必要では。

町長：事業の政策目的・効果の検証により、行政全般にわたる改革を進めます。

質問：当町の適正な予算規模をどう捉えているか。

総務課長：特定財源を含めて概ね50〜55億が身の丈に合った予算規模と考えております。

質問：令和5年度の決算値の人件費は、普通建設事業費を上回る12億円と数等の考えかたは。

総務課長：類似団体と比べて管理職が多いと認識しており、今後は、県内の他町と比較し、業務量や兼務状況を総合的に分析した上で組織の見直し、兼務の促進などを段階的に進めてまいります。

質問 銘茶「川根茶」産地としての今後について

答え 「川根茶」は、川根本町の顔である！

質問：町は銘茶「川根茶」をどのように捉え、今後の方向性を考えているか。

町長：銘茶川根茶は、町民が大切にしている伝統であり、まさに川根本町の顔であります。

当町は、茶の栽培に適した風土と長年培われた生産技術・技能により、高

品質煎茶産地としての揺るぎない優位性を有しております。この高品質煎茶を主軸とし、伝統ある煎茶と収益性に優れた碾茶の生産を両輪として推進していくことが、銘茶川根茶の方向性だと考え

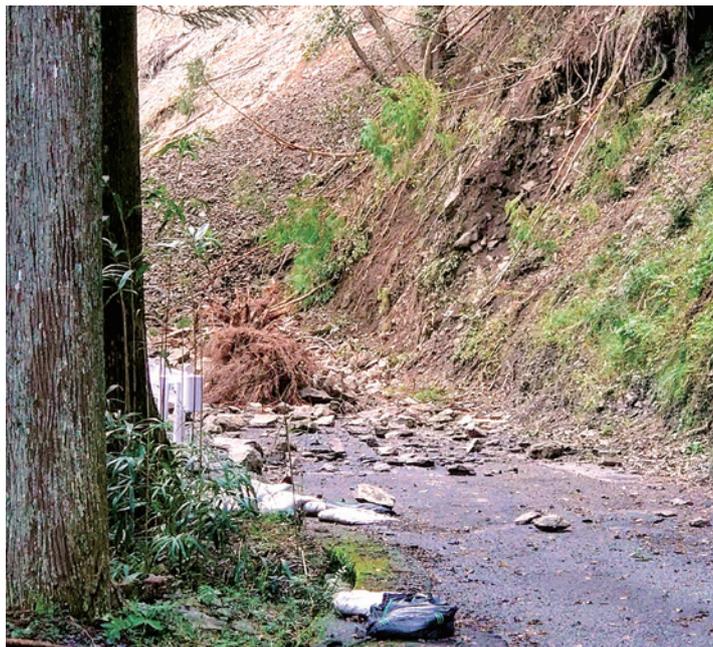
ます。

質問：今後も銘茶川根茶が続いていくために重要

と考えるポイントは町長：この町の茶の技術は日本一です。しかしながら、後継者不足等の課題も多い。今後、農業組織をもう一回つくり直し、川根茶をずっと継続することが大事です。から、手法と手腕が重要で生産家の皆さんと協力して農業行政を推進していきます。



進むICT教育



林道平栗線

いし ぜき
石関
はな
華
議員

質問 林道平栗線の復旧工事の進捗と情報提供を

答え 通行止め解除は令和九年、年末を目標に

質問：今年度の工事内容
と来年度以降の見通しは。
町長：令和六年八月以降、
のり面崩壊と応急復旧を
繰り返してきたが、昨年
六月の崩壊を受け、安全
確保のため通行止めとし
た。現在は志太榛原農林
事務所がのり面保護の治
山工事中。令和九年一月
までにのり面工事完了後、
智者の丘公園管理道の復
旧を経て、林道平栗線の
災害復旧工事に着手予定。
質問：令和九年一月まで
県の工事期間の予定だが
その間の町の取組みは。
建設課長：町の工事着手
は難しいが、迂回路であ
る林道智者山線等の道路
整備、安全確保の施設設
置等を地域住民の要望を
踏まえて行う。
質問：工事の計画や進捗
状況を町ホームページや
広報紙で定期的に町民全
体に報告しては。
建設課長：迂回路の状況、
通行止め解除等の情報は
いち早く広報していく。
工事に関する内容は、そ
の都度地元の方に丁寧に
説明していく。

質問 学習用iPadの保険料を町で負担しては

答え 使い方の指導や機種選定を慎重に行う

質問：児童生徒共通教材
のiPadは現在保護者の
任意で年間三千元の保険
に加入しているが、未加
入世帯では数万円の修理
費を自己負担した事例も
あり、全児童生徒が等し
く安心した環境で使用で
きるよう町が保険料の一
部又は全額負担できない
か。
町長：学習用iPadは令
和四年から配備され、児
童生徒用、教員用、予備
機含め三五〇台整備して
いる。
教育総務課長：端末修理
の他にも、学校活動中の
けなども補償対象とな
る「こども総合補償制
度」を案内している。端
末破損時には予備機の貸
与や画面保護フィルムの
貼布を実施している。
質問：次期に向けて機種
の選定はどう行うか
教育総務課長：次期末
更新に向けては、児童生
徒及び生徒及び教員の意
見等も聞き、特に学習効
率や使いやすさを重視し
て慎重に機種選定を進め
ていく。故障時の対応に
についても検討事項の一つ
としていきたい。



復旧が待たれる大井川鐵道



やま だ たか ゆき
山田 貴之
議員



高塚山のシロヤシオ

質問 次年度当初予算で求める町の将来像は

答え 町民の皆様とともに創造していきたい

質問：R8当初予算で求める町の将来像を伺う。

町長：「誰もが安心して暮らせる・これからも活き続けられる町」を町民の皆様とともに創造することを目標とする。

質問：想定する予算規模について伺う。

町長：大井川鐵道の復旧支援など、引き続き大き

くなる見込み。必要な財源を確保し、歳出削減に努め持続可能な行政運営となるよう取り組む。

質問：補助金の見直しについての考えを伺う。

町長：補助金の目的達成度や費用対効果を年度ごとに検証し、棚卸しを行い取捨選択をしていく。

質問：人件費上昇の見込

みほどの程度か。

総務課長：R7比で概ね4%上昇する見込み。

質問：第三次総合計画の策定方針を伺う。

経営戦略課長：第二次計画の基本部分を継承する。進捗状況を確認し、新たな課題を把握整理し取り組んでいきたい。

質問 通行規制している林道南赤石線の見通しは

答え 国に対して支援を要望していきたい

質問：黒薙により通行規制となっている林道南赤石線の見通しを伺う。

町長：現在も小規模な崩土があり、安全確保のため全面通行止している。

質問：周辺エリアは自然の宝庫であり、当町にとって重要な交流の場である。6年以上通行規制を続け、道路管理者とし

てどう考えているか。

町長：国への支援を要望していきたい。自然豊かな当町にとって大事なことだと考える。

質問：町道下長尾向井線関連予算が補正予算に計上されていない理由を。

町長：久保尾地区の皆様にはご迷惑をかけている。まずは、う回路として

る二本松線の整備を優先していきたい。

質問：足間沢の現状は。建設課長：用地取得が完了次第着手するよう県に要望していきたい。

質問：町民の皆様のご意見を吸い上げる機会を。

町長：職員にも現場に行くようお願いしている。懇談会等については、各種整理し調整する。



なか はら みどり
中原 緑
議員



時を経ても美しい場所...田野口駅

町のことは町民で考えよう！利活用構想が進む旧第一小

質問 選挙公約「ハートを交流させる町づくり」とは

答え やさしい政治。町民の訴えを聞き、現場に行く

質問：平栗地区住民は、

平栗線の災害で迂回路が

ほとんど未舗装路の上、

3倍の距離を通行してい

る。ハートの部分の支援

として、燃料費の補助を。

建設課長：以前の災害時

対応と同様、燃料費の補

助の予定はしていない。

質問：狭隘な町道の拡幅

工事計画は、予定通り進

んでいるか。

建設課長：令和8年度も

現場と財政状況を勘案し

予算化の検討をしていく。

質問：一流の観光地にな

るため町と大鐵と町民は

どう対話していくべきか。

経営戦略課長：町民の声

を聞き、実現に向け関係

機関と協議し進めたい。

質問：今後のまちづくり

意見交換会の目的は、大

鐵と町が持続可能な観光

地を目指すことについて

はいかがか。

経営戦略課長：行政だけ

でなく議員の皆さんから

も町民に声掛けしてい

だし、皆さんと一緒に大

鐵を盛り上げていきたい。

町長：皆で集り、大鐵を

支えていくのは良い事。

質問 業務委託でプロポーザル方式を選択するケースは

答え 高度な創造性や技術力を要し、発注や仕様が難しい時

質問：プロポーザル方式の目的は。

総務課長：民間のノウハウを活用し、より効果的

・効率的に事業を実施。

新たな手法やアイデア

で、高い成果を期待。

質問：年間の契約件数は。

総務課長：本年度は8件。

質問：音戯の郷あり方検

討支援コンサルティング

業務、旧第一小の利活用

構想策定業務委託におけ

るプロポーザルの概要は。

観光交流課長：音戯の郷

では、応募者は1件で、

調査検討業務を委託した。

経営戦略課長：「第一小

を使った新しい地域活性

化策及び拠点整備案を策

定する業務」は応募4者。

職員のチームで進めたが

上手く行かず公募した。

質問：業者選考委員に民

間専門家を加える予定は。

総務課長：学識経験者を

加えて対応していく。

質問：プロポーザル方式

導入における観点は。

総務課長：業者を頼らず

必要最低限の外部委託に

よって今後も行政サービ

スの安定提供に努めたい。

皆さんの声を議会へ

予防医療が叫ばれている。健康寿命を延ばして医療費の負担を減らせれば国も自治体も個人も助かるわけである。健康の為に家の近所のできるアウトドアを考えてみよう。ウォーキング、バードウォッチング、どこでも。ハイキング、トレッキング、トレラン、近所の山、大札山、天狗石山、智者山等。バイク、ロードマウンテン、グラベルロード（自転車）も町道、県道、林道。友釣り、ルアー、フライフィッシングも大井川水系。グランドゴルフも町内のグランドゴルフ場。サップ、カヌーも接岨湖。キャンプも町内のキャンプ場。ハンティングも近くの山。ハードルの高いものもあるけど自分に合ったもので楽しもう。気分爽快、リフレッシュ。

男性 70代

先日、選挙後初の町議会に傍聴に行きました。予想以上に傍聴者が多く、町民の関心の高さを感じました。自分と同世代、それ以下の方は、平日の日中のこともあつてか数名、割合としては1割強程度だったでしょうか。

子育て、育児中の親にとって、この町での悩み事は、通学の不便さやオムツ、小児科、産婦人科問題など。ただ、日々の忙しさで町政に関心を向ける余裕は少ないと思います。無関心ということでもありません。町も様々な施策に取り組んでいるし、積極的に活動される議員さんもいらっしゃいます。従来の周知方法に加えて他の方法をもっと取り入れ、町民の関心を引き寄せる、そんな工夫があってもいいのかなと思ったりもしました。女性 50代

広報委員長

議会広報委員長に就任しました。議会の言葉は難しい。だからこそ、私たちは「翻訳」にこだわります。専門用語を暮らしの言葉へ。単なる報告を、体温のある手紙へ。新しいメンバーと共に、ふと会話が生まれるような、皆さんの日常に馴染む広報紙を目指して改革を進めます。佐々木直也

広報副委員長

今期、広報委員会副委員長を務めさせていただきます。この「川根本町議会だより」は本町合併時より歴代議員の方々が議会と町民をつなぐ架け橋また情報源として試行錯誤し、続けてこられました。その先輩議員の方々の意思をしっかり伝承し、また、町民の皆様にとってもこの町の将来を一緒に思い描ける、議会だよりを目指してまいります。爾見淳芳

広報委員

議会広報は、議会基本条例の「町政にかかる重要な情報の町民への周知」と「町民の町政に関心を持ったための広報活動」に沿った町民と議会を繋ぐ重要な手法であることを常に意識して頑張ります。野崎郁徳

親しみやすく、読みやすく情報源にもなる、そんな議会だよりができればと思います。いろいろな方の意見を聞くたびに、なるほどなあと感じます。まずは町民の皆さまの声を書いてくださった方に感謝！ 山下真男

昨年12月に行われた定例会での一般質問には議員全員が臨み、20名近くの方が傍聴にお越しくださいました。今まで以上に議会や町、暮らしの話を見やすく、注目し続けたいだけです！ 石関華

3月定例会の日程

3/2	月	定例会本会議（9時～）
		全員協議会
12	木	定例会本会議（9時～）
		全員協議会
24	火	定例会本会議（9時～）

※どなたでも傍聴できます。

